

授業科目及び時間数	老年看護の展開方法 1単位 15時間		
開講時期	2年次 後期		
担当教員	田村万寿美	実務経験	有
<p><科目のねらい> 老年期の特性を基盤とした生活機能の視点から看護の展開方法を学び、看護実践ができる力をつけることをねらいとした単元である。 多くの高齢者は、慢性疾患や障害を持ちながら暮らしており、これまでの問題解決思考型による看護展開だけでは対応が難しい。そこで、ストレングスモデルを用いて、高齢者が望む生活に近づける援助について学習する。</p> <p><到達目標> 1. 高齢者の強みを生かし、目標志向型思考の看護展開ができる。 2. 高齢者が望む生活への援助が考えられる。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 授業ガイダンス 2. 老年看護の考え方	講義	
2回目	1. 生活機能の視点について 2. ストレングスモデル	講義	
3回目	1. 事例提示	事例デモンストレーション	
4回目	1. 情報整理・情報共有	グループワーク・個人作業	
5回目	1. 看護問題の共有	グループワーク・個人作業	
6回目	1. 看護計画立案	グループワーク・個人作業	
7回目	1. 看護援助の実施・評価	演習	
8回目	終了試験		
評価方法	筆記試験 (50%) 看護展開提出物 (50%)		
受講生に対するメッセージ	看護の展開方法を学ぶ授業になります。これまでの問題解決型思考だけではなく、『生活している人』に求められる援助とは何かを考えるために、普段から自分自身の感性を磨き、感じ・考えられるよう準備をしてください。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 出版社：医学書院		
参考書	なし		